

## 新型コロナウイルス感染症がアフリカの子どもたちに与える影響 ～危機にある子どもたちを守るために

### 【日本語概要】

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、世界中のほぼすべての国々にウイルスが蔓延するという、これまで経験したことのない世界的な流行となっています。アフリカの55ヶ国のうち54ヶ国で少なくとも1名の感染者が出ていますが、アフリカ全土における感染確認者数は6月3日時点で15万8,000人と比較的低い水準にとどまっています。これは、多くのアフリカ各国の政府が迅速かつ断固たる策を講じたことと、若年人口が多いことなどが理由としてあげられます。しかしながら、COVID-19の世界的大流行は、アフリカにおいて、保健医療における危機だけではなく、今後数ヶ月から数年におよぶ壊滅的な社会経済危機をもたらすとされています。この政策提言書では、COVID-19が原因で子どもたちが死亡する危険性が高いわけではないものの世界的大流行が、かなり広範に2次的な影響をおよぼし、アフリカの子どもたちの権利と健全な成長（wellbeing）に対するリスクが高まることを強く訴えています。

- COVID-19の急速な拡大は、もともと資金や設備が不十分なアフリカの保健医療制度に過度な負担を強いており、通常の保健医療サービスに混乱をもたらしています。結果として、特に子どもたちの病気や、予防可能・治療可能な病気による死亡などが増加するでしょう。例えば、殺虫処理済みの蚊帳に関する啓発活動や抗マラリア薬の入手ができなくなっていることにより、アフリカにおけるマラリアによる死亡数は、20年ぶりに76万9,000人にのぼる可能性があることが予測されています<sup>1</sup>。
- COVID-19の世界的大流行は、アフリカの子どもたち、特に少女たちの学校教育や健康、安心・安全や保護を危険にさらしています。休校措置に伴い、就学前教育から中等教育までの2億6,250万人以上の子どもたちが現在学校に通えていないと推定されています<sup>2</sup>。これは、アフリカ全人口のおよそ21.5%にあたります。アフリカの多くの貧しく脆弱な立場にある子どもたちにとって、学校は学ぶ場所であるだけでなく、暴力や搾取から守られる安全な場所でもあります。そして、子どもたちが栄養のある食事をとる場所でもあり、ときには学校給食が1日の唯一の食事になることもあります。
- アフリカの深刻な食料不足は気候変動、紛争、経済問題により引き起こされており、憂慮すべき事態となっていますが、そうした状況下でCOVID-19の大流行が発生してしまいました。食料危機に関する最近の推計によると、サブサハラ・アフリカにおいて1億700万もの人々が厳しい食料危機に陥っています。アフリカの食料不足は多くの要因により引き起こされていますが、COVID-19大流行は新たな引きがねになろうとしているのです。調査の多くが、今後数ヶ月で食料危機に陥る人口が2倍となる可能性を指摘していますが、それはすなわち子どもたちにとって深刻な栄養上の影響をもたらすこととなります。
- COVID-19の世界的大流行は、すでに存在する脆弱性をさらに悪化させています。最も脆弱な子どもたちを含む、社会保障制度を利用することができない社会のなかで脆弱な立場に置かれている人たちにと

<sup>1</sup> <https://www.who.int/news-room/detail/23-04-2020-who-urges-countries-to-move-quickly-to-save-lives-from-malaria-in-sub-saharan-africa>

<sup>2</sup> <https://en.unesco.org/covid19/educationresponse>（6月8日閲覧）

って、この大流行は破滅的な影響をもたらします。ストリート・チルドレン、国内避難民や難民は、衛生面において高いリスクにさらされていると同時に、保健医療や、遠隔教育などの代替となるような教育制度へのアクセスもより限られています。また、アフリカにおける難民と庇護希望者の 59%、国内避難民の 50%が子どもたちですが<sup>3</sup>、国境の封鎖や移動の禁止に伴い、多くのこうした状況にある人々が庇護や安全を得られなくなり、大きな影響を受けています。これは、国際法上のノン・ルフールマン原則（追放及び送還の禁止）<sup>4</sup>に抵触します。

- **COVID-19 の世界的大流行により、アフリカにおける開発が後退する恐れがあります。** COVID-19 が経済に与える余波は、貧困削減の進展を阻害し、今後、3,300 万人の子どもたちを含む 5,900 万人が絶対的貧困の状態に陥ってしまうと考えられています<sup>5</sup>。国連は、COVID-19 により家計収入が減少したり、なくなったりしたために、最低限必要な保健医療の利用や食料購入への支出が抑えられることにより、ここ 2、3 年に減少した乳児死亡率が逆戻りする可能性があるかと推定しています<sup>6</sup>。

この危機はこれまで経験したことがないものです。しかし同時に、アフリカのレジリエンス（回復力）や独自の資源を活用する能力がこれほど示されたこともかつてなく、この地域にとって、より良い未来をつくり出すまたとない機会となっています。多くのアフリカ諸国の政府は、迅速かつ断固たるリーダーシップを発揮し、支援の役割を担う国際支援機関や組織などとともに COVID-19 の世界的大流行に対処してきています。これにより、今後よりよい政府のオーナーシップと、自国内の緊急事態や人道危機への適切な対応が展開するでしょう。アフリカ諸国のなかには、学びに関するテクノロジーやマルチメディア・プラットフォームの導入を加速させている国もあります。こうした取り組みが将来、支援などが届きにくい地域に暮らす子どもや障害のある子どもといった、これまでは学ぶことから周縁化されてきた子どもたちを含む、より多くの人々へ教育の機会を提供することにつながっていくでしょう。

アフリカ各国の政府はいま、流行拡大を阻止する責務と、経済を再活性化させ最も脆弱な人々のニーズに応える緊急性との間で究極の選択を迫られています。世界で最も多くの若い世代が暮らすアフリカ地域は、COVID-19 によって引き起こされる数々の影響に大きくさらされたままです。今後数週間、アフリカは複合的な危機に対処し続けなくてはならないでしょう。しかし一方で、政府は、こうした危機に対処するリーダーシップを、子どもの権利と健やかな成長（wellbeing）に関する国際・地域条約に沿ったものとする必要があります。特に 2020 年に採択 30 周年を迎える「子どもの権利と福祉に関するアフリカ憲章（ACRWC）<sup>7</sup>」に沿った対策が求められます。アフリカ各国の政府は、アフリカ連合（AU）と連携し、以下に取り組むべきです：

<sup>3</sup> <https://issafrica.org/iss-today/breaking-africas-cycle-of-forced-displacement>

<sup>4</sup> UNHCRは、これまでに167ヶ国が感染拡大封じ込めのために国境を一部もしくは完全に封鎖したと推計しています。少なくとも57ヶ国が庇護希望者に対しても例外としておらず、国際的な保護を求める人々の権利を制限する深刻な事態となっています。

<sup>5</sup> <https://reliefweb.int/report/world/covid-19-could-push-30-million-african-children-poverty>

<sup>6</sup> <https://reliefweb.int/sites/reliefweb.int/files/resources/WFP-0000114560.pdf>

<sup>7</sup> [https://www.un.org/en/africa/osaa/pdf/au/afr\\_charter\\_rights\\_welfare\\_child\\_africa\\_1990.pdf](https://www.un.org/en/africa/osaa/pdf/au/afr_charter_rights_welfare_child_africa_1990.pdf)

- COVID-19 の世界的大流行下において、質の高い保健医療サービスの利用や教育の機会、子どもの保護、また、その他国連子どもの権利条約や ACRWC に定められた権利を保障し、**子どもの権利を守る**こと。
- あらゆる対応計画を「**子どもの最善の利益**」と「**害を与えない**」という原則に則ったものにし、ACRWC に沿ったものにする事。
- **少女を含む最も脆弱な人々の特別なニーズ**を認識したうえでアフリカ大陸および国家としての COVID-19 対応計画を策定すること。
- 今後のあらゆる打撃から子どもたちと家族を守るために、**社会保障制度および社会保障政策**を策定・実施し、子どもたちの長期的なニーズに応えること。
- 子どもたちの意見を聞き、それらの意見が COVID-19 の意思決定に実際に影響をもたらすような機会を、安全な形で設けること。

(以上)